平成２９年度　徳島市応神小学校　総括評価表

（総合評価における「評定」の基準　A:十分達成できた　B:概ね達成できた　C:工夫・改善が望まれる　D:改善が必要である）

自己評価					学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	総合評価	学校関係者の意見	
確かな学力の育成	①分かる授業のための授業改善と学習意欲の向上 ②基礎学力の向上 ③言語能力の育成 ④家庭学習習慣の育成	評価指標 ①②③分かる授業に取り組んでいるが85％以上。子どもの能力や努力を適切に見ている85％以上 ④宿題が概ねできている90％以上 活動計画 ①「応神小学習モデル」の活用やＵＤ化等分かる授業の授業改善に取り組む。 ②ＴＴ指導や個別指導の工夫を行う。 ③学校全体の読書量を増やす。 ④「家庭学習のてびき」「学習の約束」を利用し，家庭学習習慣の定着を図る。	評価指標の達成度 ①②③「先生は分かる授業に取り組んでいる」が，児童95％，保護者94％であり，目標を達成。 ④宿題をきちんとやりとげているは児童90％であり，目標が達成できた。 活動計画の実施状況 ①「応神小学習モデル」を基に全校で統一した指導に取り組んだ。 ②朝の学習や少人数指導による個別学習の充実 ③家庭・学校での読書記録を継続した。 ④手引きや学習の約束の配布，１学期の家庭学習調査による対応等で家庭学習の定着を図った。	（評定） B （所見） 個別指導の充実や学習モデル授業を意識した授業改善にはほぼ取り組めた。児童の主体的な学習と言語活動の充実に課題が残る。	自分が好き，友達が好きと思える子どもを育てるためには学力を付けなければならない。応神という地域が好きと思える子どもを育てるためにも，しっかり学力を付けてほしい。	○基礎基本の充実と個に応じた効果的な個別指導の工夫に努める。 ○「学習モデル」に基づく授業方法の共通化や学習規律の徹底を図る。 ○宿題・自主学習調査で明らかとなった課題を基に，家庭学習における「応神小家庭学習モデル」の確立に取り組む。
基本的生活習慣の育成	①あいさつの徹底 ②正しい言葉遣いの向上 ③規範意識の向上 ④防災教育の充実	評価指標 ①児童の進んで挨拶ができる90％以上 ②丁寧な言葉遣いをするように気をつける85％以上 ③学習や生活のきまり及び交通ルールを守る90％以上 ④避難訓練毎に防災指導を実施する。 活動計画 ①挨拶運動や挨拶週間の設定と常時指導の徹底 ②③朝と帰りの時間，道徳や学活の時間での指導や話し合い活動を通した規範意識の向上 ④避難訓練と合わせた防災指導により、児童の防災意識の向上を図る。	評価指標の達成度 ①アンケート結果からの児童の達成は90％，保護者76％で，達成度に違いがある。 ②丁寧な言葉遣いは児童89％で，目標を達成。 ③児童，保護者とも目標を上回っている。年間を通して，廊下を歩くことの徹底を図った。 ④避難訓練前後に学級で防災指導を行った。 活動計画の実施状況 ①常時指導に力を入れた。また計画委員会による校門でのあいさつ運動を行った。 ②相手を大切に思う気持ちをもって，「～さん」づけで呼ぶことや，乱暴な言葉を使わず話すことを学級や学校全体で指導してきた。 ③個別に指導を要する家庭には，担任が直接生活習慣改善への協力を求めた。 ④全ての学級で避難訓練と併せて防災指導を実施することができた。	（評定） B （所見） 進んであいさつするは，依然として目標を達していない。常時指導と児童の自主的な活動の双方から取り組み進めたい。 規範意識についても学習・生活のきまりを徹底していきたい。	昔は田んぼや畑で仕事をしていたら，大きな声で「さようなら」などの挨拶が聞こえた。そういう子どもになってほしい。継続することが大切と思う。	○あいさつや言葉遣い等の指導を，全教職員で今後も共通理解を図り，教職員自らが率先して働きかけ，継続的に根気よく取り組む。 ○児童が主体となり，自らの活動でよくなったと実感できる活動を工夫して取り組む。 ○スクールワイドＰＢＳを導入し，学校全体でポジティブな行動支援に取り組む。 ○清掃時は無言清掃が徹底できるよう継続して指導していく。
健やかな体の育成	①規則正しい生活を送ろうとする態度の育成 ②魅力的な体育授業づくりの推進 ③食育の推進 ④睡眠指導の充実	評価指標 ①朝ご飯を食べて登校85％以上 ②めあてを持って体育学習をする85％以上 ③好き嫌いをなくし，食べ残しをしない85％以上 ④睡眠指導の充実に取り組む80％以上 活動計画 ①バランスのとれた朝ご飯の推進 ②体育の時間での運動量の確保と効果的な場の設定 ③専門家による食育の授業を実施する。 ④朝の会や帰りの会，また長期休業日前に児童への指導と保護者への啓発	評価指標の達成度 ①児童95％であり目標は達成できたが，朝食を食べない児童の割合が減らないのが課題である。 ②児童86％，教師は100％であり，目標を達成。 ③児童90％であり，目標を達成できた。 ④取り組んだ教職員は，92％で概ね達成できた。 活動計画の実施状況 ①朝の時間や学活の時間に適宜指導を行った。６年生の食育授業では朝食を取り上げた。 ②運動の楽しさを味わわせる取り組みができた。 ③講師を招き，２学年，４学年，６学年で食育の授業を実施した。 ④児童への指導とともに，学校だよりやホームページで保護者への啓発を行った。	（評定） B （所見） 朝ご飯はほぼ全ての児童が食べている。給食の残食も少なく，引き続き取り組みを進めたい。児童が主体的に運動に取り組めるようさらに工夫していきたい。	外遊びや集団での遊びはとても大切である。休みの日に外で遊ぶ子を見かけることが少なくなってきたのが残念。自分の体や頭を使って遊ぶ楽しさを味わわせてほしいと思う。	○体育授業での児童の運動量の確保に努める。また，体育関連設備の充実に努める。 ○季節に応じた遊びや運動を紹介するなど，休み時間等での運動遊びの活性化に努める。 ○全校で食育の指導に取り組んでいく。
豊かな心の育成	①望ましい集団活動の充実 ②自尊感情の向上 ③いじめの未然防止，早期発見及び早期解決 ④将来に向けたビジョンづくりの推進	評価指標 ①友達に優しくし助けようとしているが85％以上 ②自分の良いところをいうことができるが85％以上 ③いじめのない学校づくりができている90％以上 ④キャリア教育への取り組み90％以上 活動計画 ①全校縦割り班活動を学期に３回以上，保・幼との交流を年間２回以上行う。 ②一人一人の良さを認め褒める機会を増やす。 ③教師の道徳の授業力向上といじめアンケートを年間２回以上実施する。 ④キャリア教育の推進を図る。	評価指標の達成度 ①児童91％，保護者88％であった。さらなる向上をめざしたい。 ②中間アンケートより10ポイント以上肯定評価が伸びたが，児童76％であり，さらに努力が必要。 ③保護者90％で達成。さらなる努力が必要である。 ④教職員92％で達成。個々の子どもの将来に向けた成長目標をイメージしているが100％。 活動計画の実施状況 ①絆班活動を年間３回以上，保育所・幼稚園ともそれぞれ年間２回交流することができた。 ②絆班活動や交流学習など具体的な場で良い行いを賞賛し，自尊感情を高めることができた。 ③道徳の大研３回と２回のいじめアンケートにより，いじめの早期発見・早期解決につながった。 ④キャリヤ教育を推進し，出前授業の実施，教育関係施設等の見学の体験学習の充実を図った。	（評定） B （所見） いじめのない学校づくりや仲間づくりに全教職員で共通理解を図り取り組んできたが，保護者への周知や当該児童の保護者に対する説明が十分でなかったことがあった。	学校はどのようにしていじめを把握しているのか。気づかずに見過ごしてしまうことのないよう努力してほしい。 ラインやネットでのいじめはなかなか把握しにくいと思う。子どもたちへの教育は保護者への啓発が重要である。 今後も特別支援教育に力を入れてほしい。	○保護者にも自尊感情の大切さを啓発していく。 ○子ども同士でよさを見つけ合い認め合う習慣を育てる。 ○教師が率先して子どもの頑張りや良いところを賞賛する場面を多くする。 ○教師と子ども，及び子ども同士，教師と保護者のよりよい関係づくりに努め，いじめ事案には正確に丁寧な説明を行い，早期解決を図っていく。